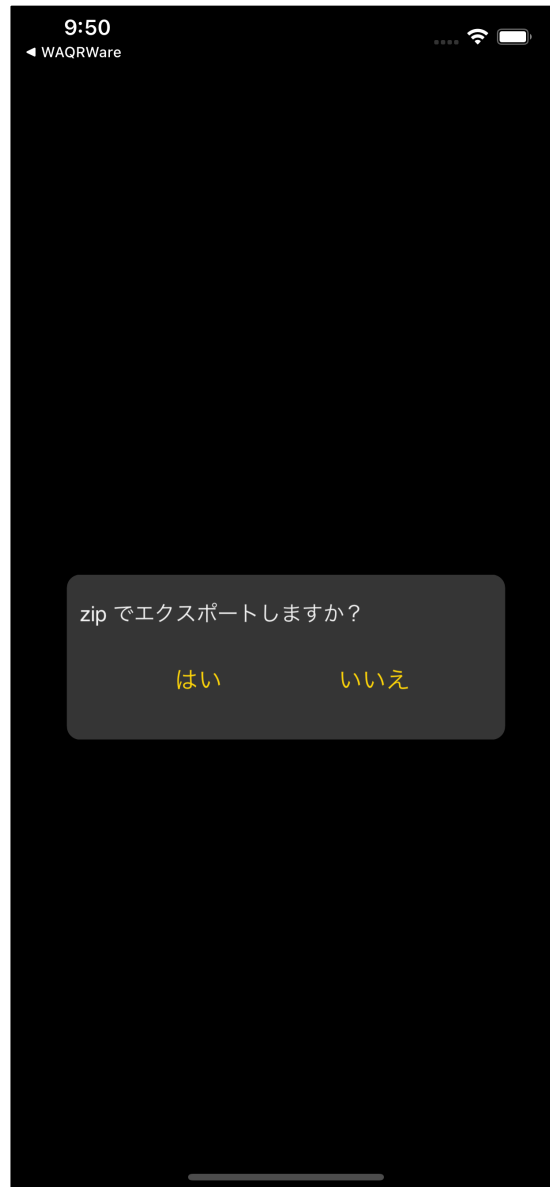
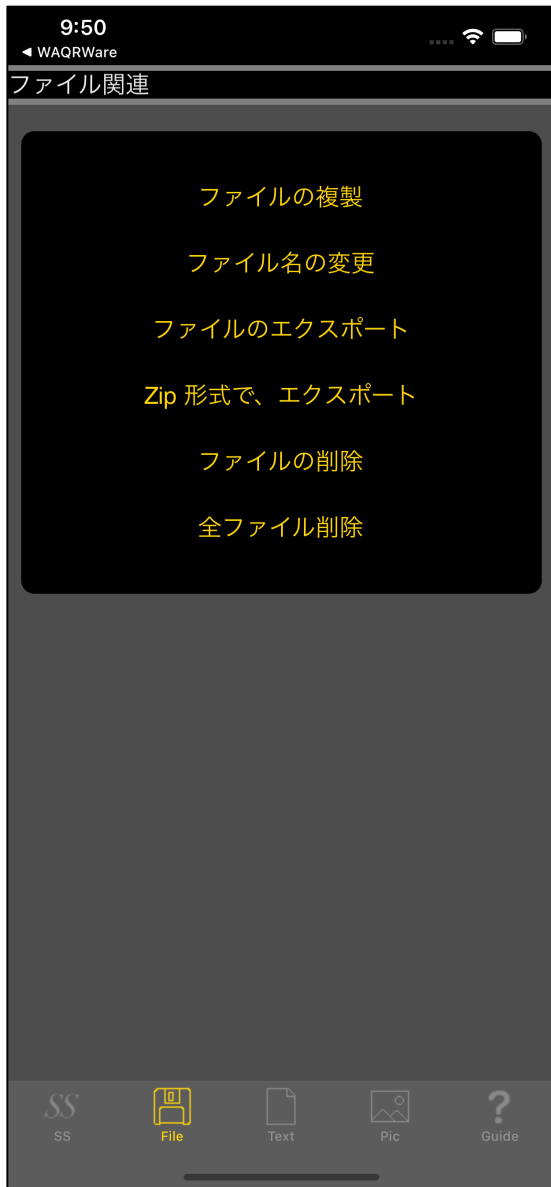


Export with Zip

このコマンドは、Secret Share のファイル保管用ディレクトリに格納されているすべてのファイルを、無圧縮zip により書庫化し、そのzip ファイルをエクスポートします。

このコマンドは、このコマンドを実行した後に、ファイルの全消去を行うというようなことを想定しています。

全消去前の、全保管というような意味合いです。

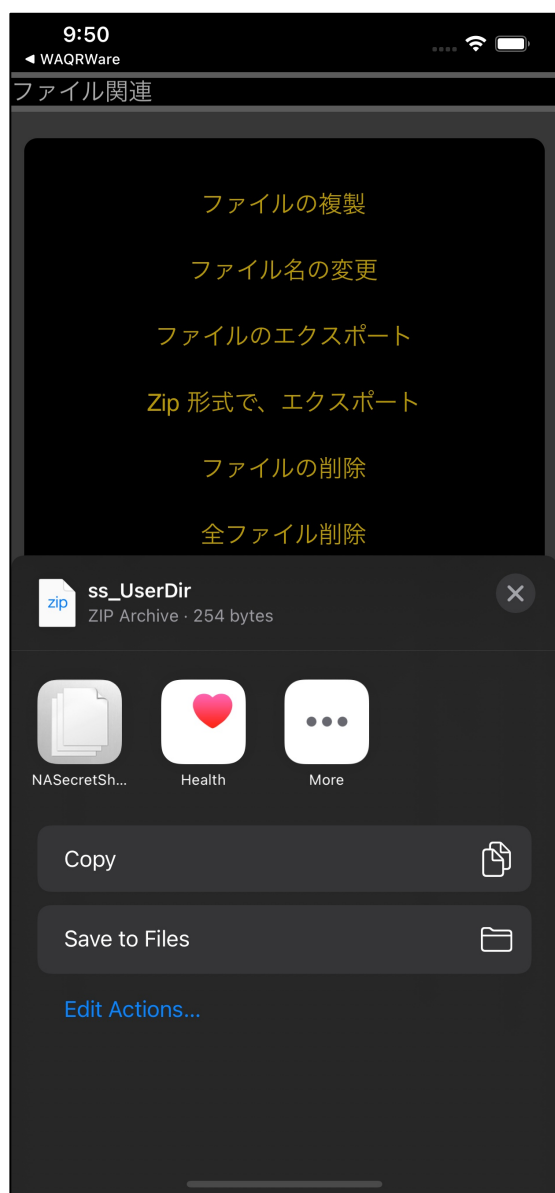


メインの、上から4番目の“Zip 形式で、エクスポート” ボタンを押すと、右のようなビューが出てきます。

この右のビューの意味合い、選択肢は、無圧縮 zip のエクスポートを行うか否かということだけです。

行うなら、“はい” ボタンを押します。

“はい” ボタンを押すと、次のようなビューが出てきます。



無圧縮 zip ファイルをエクスポートする先のアプリケーションを示すアイコンを押すと、エクスポートが実行されます。

このコマンドは、ファイルの消去は行っていません。

Secret Share のファイル保管用ディレクトリに格納されている、すべてのファイルを無圧縮 zip により書庫化し、その zip ファイルをエクスポートするだけです。

Secret Share のファイル保管用ディレクトリに格納されているファイルは、そのまま、丸々、残存しています。

生成した、zip ファイルは、コマンド実行後に、自動で削除しています。

エクスポートを実行しても、キャンセルしても、どちらの場合でも、自動で削除しています。

生成した zip ファイル自体は、Secret Share に残しません。

いったん、エクスポートした後に、エクスポート先となったアプリケーションから、Secret Share に転送すると、Secret Share のファイル保管用ディレクトリに格納することはできます。

しかし、Secret Share は、無圧縮 zip の展開は行っていません。

無圧縮 zip を、複数回、言い換えると、多段で書庫化することになっても、無圧縮 zip を格納している、無圧縮 zip になるだけです。

別段、何の問題もありません。

無圧縮zip について

Secret Share の “無圧縮 zip“ では、圧縮は、一切、行っていません。

zip を書庫として使用(利用)しているだけです。

zip の仕様には、完全に準拠しています。

Secret Share では、今のところ、“展開” には対応していません。

プログラムコードとしては、“展開” を行う能力はあるのですが、使っていない、呼び出していないという状態です。

Secret Share では、今のところ、ファイルを保管するディレクトリは、1つのディレクトリだけということにしています。

ディレクトリ付きの zip ファイルを展開して、ディレクトリが出てくると、保管場所に困るということで、こういうことにしています。

こういうことになっているため、“無圧縮 zip” の展開は、何か、別のソフトウェアで行わねばなりません。

このソフトウェアが作成した zip ファイルは、zip の仕様には完全に準拠しています。zip の展開、無圧縮 zipの展開が行えるソフトウェアなら、どんなソフトウェアでも行えるはずです。

Secret Share が作成する無圧縮 zip には、ファイル数や(総)サイズには、何の制限もありません。

zip の仕様の上限、マシンの保管に関する上限まで、扱うことが可能です。

この『無圧縮 zip』というコマンドの意味合いは、

Secret Share が保持しているファイルを、すべて、別のアプリケーションに、一気に転送する。

その後、全ファイルを削除して、Secret Share のファイル保持用ディレクトリを、空にする。

こういうことを想定してのものです。